

# 北岳バットレス第四尾根

記 T村M

2023/7/15(土)~17(月)

メンバー: T村M、T村E、S石K

7月末に予定しているハツ峰六峰Cフェースに備えて、お互いのクライミング動作の確認も含め、北岳バットレス四尾根に行ってきました。バットレスは四尾根他ルートも含め何度か登っているが、今回は8年ぶりとなった。

## 2023/7/15(土) 曇りのち晴れ

前夜、21:30 にS石Kさんと合流、芦安の駐車場で仮眠。朝一番のバスが出発の際、駐車場の関係者に駐車場ではテントは禁止と注意を受けた。

6:30 乗合タクシーで広河原へ出発。タクシーの時刻表では 7:00 となっていたが、早めの出発となった。

40分ほどで、広河原に到着。準備をして、早々に出発。初日は白根御池までで、2日目にバットレス登攀で、3日目下山の予定。久しぶりの大荷物で、白根御池小屋まで3時間もかかった。テントを設営後、暑さでばてたので下見はやめて、台湾スイーツの豆花を食べてのんびりと過ごす。明日の登攀で一緒に行動するK村さんパーティが仕事を終えて夕方に来てくれる。タクシーの最終にぎりぎり間に合い、広河原から2時間で上がってきた。我々のテントの隣にテントを張ってもらい、軽く談話後明日は早いので早々に就寝。

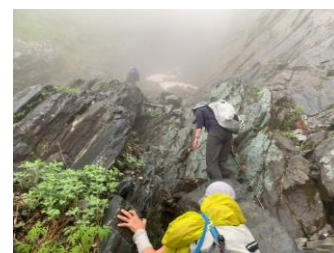


コースタイム : 7:35 広河原 ~ 10:45 白根御池小屋テン場

## 2023/7/16(日) 曇りのち晴れ

5:10 白根御池小屋テン場発。早いパーティは2時頃に起きて出発したらしい。我々は、遅め？の出発となった。四尾根までは、bガリー大滝を2ピッチ登り、cガリーまでトラバース。cガリーを少し上がったところからヒドウンストラブを上げてゆく。

白根御池から大樺沢二俣へ下り、二俣から大樺沢左岸を、バットレス沢との出合いの大岩を目印に進む。大岩からバットレス沢に入り、急な斜面を登る。



7:00 bガリー大滝に到着。bガリー大滝の1ピッチ目は左側のクラックから上がるが、取り付きには大きな雪渓

[ここに入力]



が残っており、前日までの雨で岩が結構濡れている。しかし、クラックの中は足場豊富で、濡れているのもさほど気にならない。2ピッチ目はフェース状の斜面を登る。難しい斜面ではないが、支点があまりなく、慎重に登る。



2ピッチ目の終了点から少し上がったところで、左に進み尾根をトラバースして、cガリーに出る。cガリーは雪渓が残っていたが、雪渓のヘリから右岸に渡り20mほどあがったところで、「4→」のマーキングがあり、そこからヒドゥンスラブに入る。

ヒドゥンスラブは見た目、ヌメッテいるように見えたが、思ったよりもフリクションが効き、問題なく登り、四尾根取りつきテラスに到着した。



11:00 四尾根取りつきテラスに到着。bガリー大滝から約3時間半かかった。ここでクライミングシューズに履き替えた。

1P目: つるりとしたクラック~やさしいスラブ

5mほどの切り立ったクラックから始まり、稜線に上がる。最初のクラックが難しい。S石Kさんがリードする。



2P目: 土のバンド~階段状の岩場

右寄りのハイマツの際が階段状になっているので、簡単に登れる。T村Mがリードする。

2ndが登攀中に、後続Pが我々の登りの導線上に支点をとったため、ロープが交差し登りにくくなる。

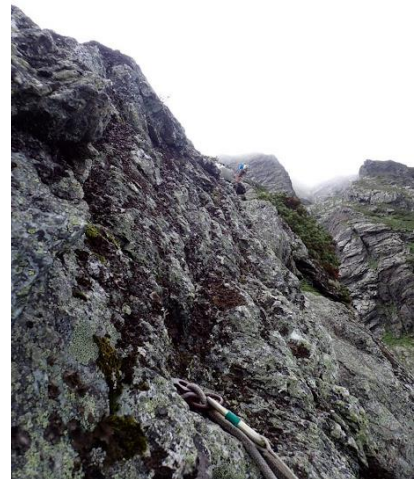




### 3P目:緩傾斜のクラック

白い岩のフェースに刻まれたクラックを利用して登る。S石Kさんリード

緩斜面といってもフェースに出るため、高度感がある。フリクションもあり、支点も適度にあり、気持ちよく登れる。



### 4P目:フェースからリッジ

### 5P目:三角形の垂壁からマッチ箱

三角形の垂壁の岩肌がつるつるで、斜上して打たれているピンにカラビナをかけ、A0で登る。S石Kさんリード

3P目終了点の一段上のテラスが空いたので、そこにビレイポイントを移動したため、一段下で2nd

のビレイをしていたS石Kさんが、上がってきてそのまま、リードしてもらった。やはり、垂壁の登りが大変だったらしい。このピッチは三角形の垂壁の前でピッチを切るのだが、緊張していたのか 5P目の垂壁を続けて登り、マッチ箱の懸垂ポイントまでロープを伸ばして行ってしまった。後続は垂壁に着けられたクイックドローを利用し壁をクリア。





マッチ箱の懸垂ポイント:切れ落ちたナイフリッジの懸垂ポイントから10mほど下のクラックのテラスまでの懸垂ロープを1本で懸垂する。残りの1本を担いで降りる。四尾根の有名なポイントで、ナイフリッジでの懸垂支点作りを慎重に行い、懸垂下降する。

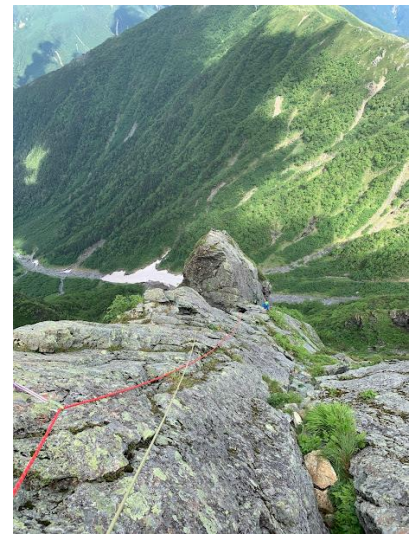


6P目:右のコーナーからカンテ上のクラック

最終ピッチのチムニーが見えてきた。岩が濡れているらしく先行パーティが滑ってなかなか登れないようだ。それに伴って以降のパーティが渋滞しているため、ここで1時間近く待ちとなる。以降も1P毎に渋滞待ちとなる。

マッチ箱のナイフリッジと下降したスラブの間の40cmほどの隙間(クラック?)を利用して登るが、クラックの中が濡れていて滑る。カンテとマッチ箱側の壁面を利用し、10mほど上がったのち、左のフェースに移り、直上する。フェースに移る際の横移動が、微妙で怖い。T村Mリード。6P目の終了点にピンが5本あったが、2本はグラグラで抜けそう。全般的に古いピンが多いので、使用の際は確かめてから利用する。





7P目:カンテまたは左のルンゼから枯木テラス

S石Kさんリード。最初、尾根の直上を進むが、途中の岩のホールドが無く、左のルンゼに移り枯木テラスまで上がる。左のルンゼに移る際、ロープが岩にかかり、流れなくなってしまい、解除するのに時間がかかってしまう。左のルンゼは、途中のピンが全然なかったが、手足のホールドがしっかりしていた。



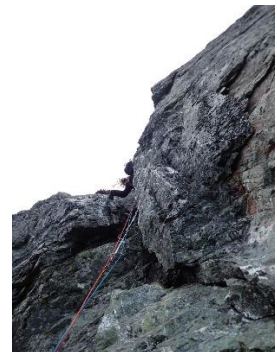
8P目:ナイフリッジのトラバース

T村Mリード。城塞チムニーの一部が崩落してできたナイフリッジをカンテと足のフリクションで5mほどトラバースしてチムニーの前でピッチを切る。

崩落する前は簡単だったが、崩落後8P目以降は難しくなってしまった。

9P目:城砦チムニー

T村Mリード。城塞チムニーの登りが今回の核心になる。先行パーティが、登りで苦戦し時間がかかっていたので(岩がびしょ濡れになっていた)、先行のK村さんに2本スリングをかけた状態にもらったおかげで、スムーズにあがることができた。



終了点:

先行のK村さんPと合流。装備を解除して、北岳の頂上へ登る。急登を踏み後をたどり北岳の東側尾根の登山道に出る。登山道を10分ほどで頂上に到着。K村さんPと記念写真を撮り5分ほど休憩。山頂から白根御池小屋のテマ場まで肩の小屋経由で下山するが、二人は足が速いので、ここで行動を別にして先に降りてもらおう。

[ここを入力]



下山を開始して肩の小屋との間で暗くなり、ヘッドランプ下山となる。

肩の小屋でゆっくりトイレ休憩。小屋泊りの人たちが声をかけてくるが、これから白根御池まで下山するというと皆驚いていた。2時間のヘッドランプ下山でようやく白根御池のテント場に到着。K村さんが小屋の閉まる前に私たちのビールを買っておいてくれた。ありがたい。ビールで乾杯。ビールがうまかった。夕食談話後、就寝。

コースタイム : 5:10 白根御池テント場 ~ 5:30 二俣 ~ 6:21 バットレス沢大岩 ~ 7:20 B 沢大滝 ~ 10:15 ヒドウスラブ ~ 11:00 四尾根取りつき ~ 11:00 1ピッチ目 ~ 12:00 2ピッチ目 ~ 12:40 3-4ピッチ目 ~ 14:05 5ピッチ目(マッチ箱) ~ 17:20 8ピッチ目(崩落カ所) ~ 18:20 9ピッチ目 ~ 19:10 北岳山頂 ~ 20:00 肩の小屋 ~ 20:20 分岐 ~ 20:30 草滑り ~ 21:40 白根御池テント場

## 2023/7/17(月) 晴れ

この日は下山のみ。起きてみたら、周りのテントは撤収され、数が減っていた。

早朝から快晴でとても暑い。

下山開始。荷物の重さは、変わらないが、下りは楽。登りの半分で下山。広河原では 11:00 のバスが1台に乗り切れず、次の時間のバスになる。

芦安の金山沢温泉で風呂に浸かり、帰りに道の駅しらねの産直で桃を買い、甲府昭和の「餃子の王将」で食事をして帰路につく。三日間楽しい山行でした。ありがとうございました。

コースタイム : 8:50 白根御池 ~ 10:30 広河原